

2007年古地磁気・岩石磁気夏の学校

2007年9月2日(日)-4日(火)の2泊3日の日程で、同志社びわこリトリートセンター(滋賀県大津市北小松)において、52名(教員・研究者28名、学生24名)の方々の参加により開催されました。1日目午後から3日目午前まで、「地磁気と地球システム」、「レスおよび堆積物の磁性」、「古地磁気とテクトニクス」および「MPMSによる測定」の4つのテーマに沿ったそれぞれ1時間の講演のほかに、テーマに関連した20~30分の計16件の口頭発表が行われました。期間中は26件のポスターが会場に掲示され、1日目の夜に1件約1分のポスター紹介が行われました。

今回は日本に滞在中の4人の外国人研究者の英語による発表など、教員・研究者のための合宿型のセミナーに近い形となり、学生の方々は理解するのにやや困難を覚えたかもしれません。一方、ポスターの前では講演の合間に熱心に議論する姿が見られ、消灯時間に煩わされずに済むように準備された森の中のキャビンでは深夜まで議論や研究の情報交換が続きました。2日目午後には2時間ほどの休息時間を設け、テニス、卓球、散歩などでリフレッシュしていただくことができました。

会場は宿泊施設を始め食事の内容など概ね好評をいただきましたが、国立大学の研修施設に比べればかなり割高であり、大学からの若干の補助を加えても参加費は例年に比べ高額(教員・研究者20,000円、学生10,000円)に設定せざるを得ませんでした。教員・研究者の方々にはご負担をいただいた一方、学生の方々の参加がやや少なくなることになったかと思われます。スケジュールなどは、<http://ess.doshisha.ac.jp/rpss07/> でしばらくの間ご覧いただくことができます。

なお、2008年は東北大学の中村教博さんにご担当いただくことになりました。

2007年夏の学校 幹事 林田 明・福間 浩司(同志社大学)

